

ご存知ですか 「北区おもちゃ図書館」

北区おもちゃ図書館 まつもと 松本 あつお 敦雄

はじめに

私は、昨年5月に「北区おもちゃ図書館」のボランティア活動を始めたばかりの一年生です。本来であれば先輩の適任者がすべきところ、諸先輩方の許しを得て一年生という新鮮な(?)観点から、以下当館の紹介をさせていただきます。

「おもちゃ図書館」の活動趣旨と結成

「おもちゃ図書館」とは、障がいのある子どもたちが、おもちゃを通して楽しく遊ぶことができるようにとの願いから始まったボランティア活動です。

遊びの機会に欠け、また上手に遊べない子どもたちに、たくさんのおもちゃを用意して、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ機会を提供し、自宅でも楽しく遊べるようにおもちゃの貸し出しを実施しましょう。これが「おもちゃ図書館」の活動趣旨です。

もちろん現在は障がいの有無を問わず、すべての子どもたちを対象に、それぞれの地域のなかで楽しみながら知性と豊かな情緒がはぐくまれることを基本的な目的として、活動を続けております。

全国では1981年(昭和56年)に東京都三鷹市でボランティアグループにより活動が開始され、1983年に全国組織として「おもちゃ図書館全国連絡会」が結成されました。現在では全国に約500カ所のおもちゃ図書館が設置されております。

北海道内では18市町に、そして札幌市では、7カ所のおもちゃ図書館(名称は おもちゃランド・おもちゃライブラリーなど地区により異なります)が活動中です。

「北区おもちゃ図書館」は札幌市7カ所にあるものの一つであり、平成元年6月に地域の関係者の善意と、ボランティアグループの努力により誕生いたしました。

おかげさまで昨年6月には記念すべき、設立満20周年を迎えることができました。

「北区おもちゃ図書館」の活動内容

1. おもちゃ図書館の開館

育児交流の場としてお気軽にご利用してください。開館日には、たくさんのおもちゃに囲まれ、親子とボランティアが、楽しく遊びながら交流しています。また、親同士の情報交換の場にもなっています。

*開館日：毎月第2・第4木曜日(祝日は休館)

*時間：午前10:00～午後2:30



開館日・おもちゃ遊び

* 会 場：北区民センター内 1 階 娯楽室

* 住 所：北区北 25 条西 6 丁目

* 電 話：011 757 3511

おもちゃの貸し出しもしています。

* 300 種類以上のおもちゃリストから無料で！

* お気に入りのおもちゃを一人 3 個まで。

* 貸し出し期間は、2 週間～ 4 週間です。

2. おもちゃの宅配貸し出し

毎月 1 回適当なおもちゃを選び、当館よりお届けする方法で貸し出しを実施。現在の貸出先は 4 カ所ですが今後は介護施設などにも、貸し出しを検討しています。

* 現在の貸し出し先

- ・ さっぽろマタニティウィメンズホスピタル
- ・ クリスマンセンター
- ・ 北海道拓北養護学校
- ・ はこぶね保育園

3. 年間の主なイベント（平成 20 年度実施分）

開館 20 周年記念バス旅行（5 月）

「旭山動物園」へ。参加者にはすこぶる好評。なお、周年記念は 10 周年ごとをめぐりに実施予定。

全市ふれあい事業（9 月）

「さっぽろおもちゃ図書館連絡協議会」主催で毎年実施しており、昨年は丘珠のサッポロさとらんどで、少し寒い日でしたが一日楽しく過ごしました（現地集散）。



サッポロさとらんど・集合写真

クリスマスお楽しみ会（12 月当館主催で毎年）
北区民センターにて、人形劇・皿回しなどを楽しんだのち、サンタさんからのプレゼント...約

1 時間、お子さまたちには喜んでもらえたと思います。



クリスマス・皿まわし



クリスマスに集まった皆さん

4. 「手作りおもちゃ」の講習会

毎月 1 回第 4 金曜日の午前 10 時から 12 時まで、同じく北区民センターにて、ボランティアメンバーが中心となり、講習会を開催しております。材料は、当方にて用意してありますので、関心をお持ちの方はお気軽にご参加下さい。なお、作品はボランティア展などに出品し、運営資金の一部に充てています。



手作りおもちゃの講習会

5. ボランティアメンバーの活動

前述の1～4項の企画、準備、設営などの全般にわたって、現在約20人のボランティアが中心となって運営に取り組んでいます。

ボランティアのメンバーが、開館日以外に参加する活動は、次のようなものがあります。

- * おもちゃ図書館ボランティア北海道地区研修会（年1回開催）
- * さっぽろおもちゃ図書館連絡協議会 出席は各館の役員が参加（2カ月に1回）
- * 北区ボランティア連絡会交流会（1年に1回）
- * 北区ボランティア展（12月の第1土曜日）
- * 赤い羽根 街頭募金活動 など

今後の目標とボランティアのお勧め

少子高齢化が進み、それに伴い教育システム、福祉システム等、社会環境も変化しつつある現在私どもボランティアは、当初の趣旨であった障がい者に対する認識を深めることについて、決して忘れてはならないと考えております。

そして、新しい教育なり、福祉のシステムも学習し、それぞれの地域社会の中で「おもちゃ」を介して「すべての子どもたち」を中心に、幅広くさまざまな人たちとのコミュニケーションを深めることで、少しでも子育てのヒント、お手伝いができることを願いつつ活動を続けることが今後の目標と考えます。

前述の通り、20年以上にもわたり活動を支えてきたボランティアスタッフの苦勞も、並々ならぬものがあつたと聞いておりますが、一方、現在ではスタッフの高齢化も否めません。

将来に向けて当館の活動を継続するためにも、新しいメンバー、若いメンバーの参加が望まれるところです。

ちなみに、自身のボランティア参加の体験を述べると、定年プラス10年間のサラリーマン生活を

卒業してからの参加で、平均年齢を更に高めてしまいました...

退職後は、遊びも、飲み会も、ほとんどなくなり、手帳のスケジュール表が空白だらけ、自分の存在そのものが、無くなったみたいで、かなりのショックを受けました。

そこで、自由な時間を有効に、また従来は皆無だった地域との関わり合いと新しい人間関係を求めて、まずは区役所を中心に資料を探し、北区社会福祉協議会の発行する「北区社協だより」にたどりつき、同協議会を訪れ、事務局次長の中路氏に面談することができました。

ボランティアに関する情報を多々いただきましたが、その中に具体的に、おもちゃ図書館で男性を募集しているのを知りました。さて、自分に何ができるか不安でしたが、次長さんの「大丈夫、難しく考えず勇気を出して」の言葉に後押しされ参加を決意しました。

現在約20人のメンバーのうち、男性は参加が一年先輩の菅野氏と2人ですが、私は年はとって一応男ということで、とりあえず会場設営などの力仕事に貢献(?)し自分の居場所を確保できたこと。そして開館日にはたくさんの子どものかわいらしい笑顔が見ることができて、大変満足しております。

活動しているメンバーの感想

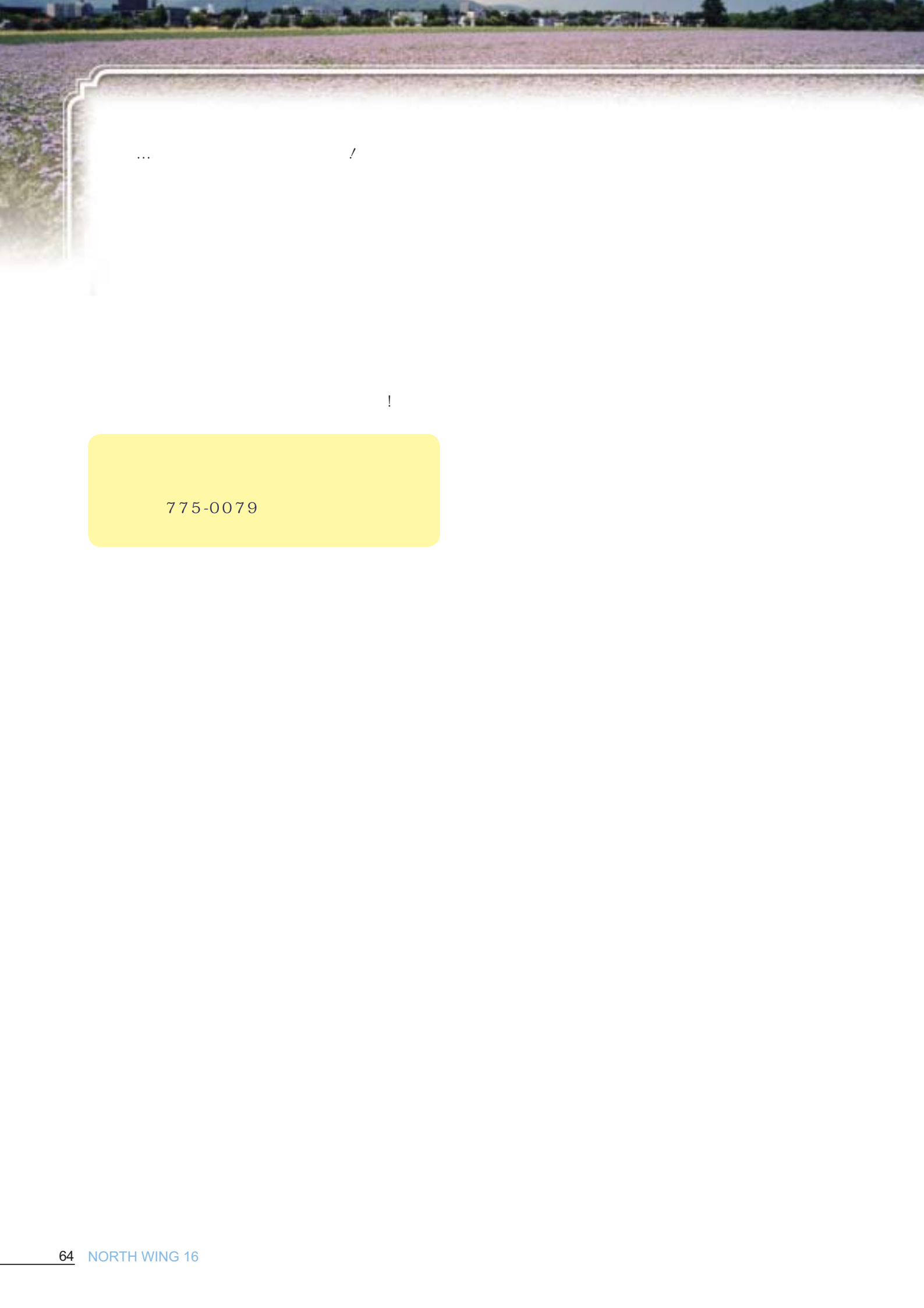
(20年度会報誌から抜粋)

「おもちゃ図書館の二十年」

北区おもちゃ図書館ボランティア 戸井 和江

平成元年春、初代代表の宮澤さん宅で、ボランティア会員の皆さんと、おもちゃの整理をしながら、北区おもちゃ図書館の将来について、語り合った事がつい、昨日の事のように思い出されます。

あれから二十年。あつという間だったような気もしますが、開館当初の写真を見てみると、「若かったなあ、あのころは夜でも針仕事のスイスイでき



たっけ…」と今との違いにびっくり！時の流れを感じずにはられません。

ボランティアスタッフは少々年をとりましたが（笑）北区おもちゃ図書館には開館当初からずっと変わらないものがあります。それは、子どもたちの笑顔とにぎやかな笑い声です。たくさんのおもちゃに囲まれて楽しそうに遊んでいる姿は何ともいえずかわいらしく、幸せな気持ちにさせてくれます。これからも子どもたちのたくさんの笑顔が北区おもちゃ図書館で見られますように！

北区おもちゃ図書館についてのお問い合わせは

代 表 / 菅野 龍夫

電 話 / 775-0079

までご連絡ください。